

とした先進的な研究事例を各学校に周知するなど指導方法の改善に努めている。

議員 本市では全ての小中学校で学校環境マネジメントシステムの運用を始めている。導入効果を伺う。

教育長 リサイクル推進に取り組みながら環境学習面において成果を上げている。

議員 児童・生徒の環境教育に学校環境マネジメントシステムを活用していくことが重要だ。課題を伺う。

教育長 子どもたちが自ら目標を設定し環境保全活動を行うなど実践ベースでの活用が課題と考えている。

〈その他の質問〉大雪対策について

市民の安全と利便性を第一に生活道路の整備に取り組み



自由民主クラブ 加藤 浩司 議員

議員 超高齢社会に向けて高齢者や子ども等に配慮した安全な環境整備が求められており、市民生活に密着した生活道路の整備は緊急課題である。今後の整備方針について、所見を伺う。

市長 道路の交通機能、都市空間機能、都市形成機能を高め、安全と居るおのいのある快適空間のまちづくりの中で整備に取り組む。

議員 生活道路の現状について、緊急車両の進入の困難さ、通過交通に伴う歩行者への危険性、バリアフリー化の必要性等が指摘されている。具体的にどのような整備計画があるのか。

市長 4m未満の狭い道路の拡幅整備、速度抑止施設の設置、路側帯のカラー化、市民・事業者と協働によるほっとベンチの設置、急

「隣人祭り」の取り組みをを広げ住民同士の交流を促進せよ



自由民主クラブ 渥美 典尚 議員

議員 フランスで始まった「隣人祭り」は、緩やかなつながりをつくり、緊急時に協力

連携をとりやすくするものだ。集合住宅等における隣人祭りのようなイベントの把握方法と評価を聞く。

市長 事業報告書の提出等により確認している。こうした取り組みは、地域の絆を強くするきっかけになっていると認識している。

議員 隣人祭りのような取り組みには、金銭面での支援のほか、ノウハウの伝授やお手伝いの派遣があってもよいのではないかと。

市長 今後も交流事業を支援するとともに、積極的に相談に乗っていききたい。

議員 集合住宅が建つ際に、町会との関係を取り持つことはあるのか聞く。

市長 積極的に仲介をしたことはないが、町会の取

教育支援担当者の連携強化と研修の充実を



自由民主クラブ 伊東 光則 議員

議員 教育支援の担当教員・職員は、障がいに関する専門的な知識が必要だ。①保育園②小中学校で行われている研修の課題を聞く。

市長 ①対応の難しい子どもが増えていることから、更なる質の向上に向けた人材の養成が望まれている。

教育長 ②保育園、幼稚園の担当者、合同で行う効果的な研修体制を構築する必要がありと考えている。

議員 0歳児から18歳まで、子どもの成長に伴って担当機関が変わることになる。課題等所見を聞く。

市長 子どもや保護者の不安の解消に努めている。保護者が子どもの状況を正確

地域の活力向上のための商業・産業振興に取り組み



自由民主クラブ 後藤 貴光 議員

議員 昨年行われた「パースントリップ調査」では、特に日本人について、ジブリ美術館を起点に市内回遊性を高める必要性が報告されている。取り組みを伺う。

市長 現在、調査の結果を踏まえて、各市内事業者が取り組みを検討している。

議員 観光場所や店舗等の情報提供にはスマートフォンが活用が重要だ。現状と今後の取り組みを伺う。

生活環境部調整担当部長 現在、みたか散策マップの配信や三鷹駅南口のWi-Fiエリアで独自のクーポンサイトを展開中だ。今後も更なる拡充を進めたい。

議員 レンタサイクル事業の充実について伺う。

生活環境部調整担当部長 今後、利用者のニーズを把握する中で更なるサービスの向上に努めていきたい。

議員 商工会・JA等と連携して更に魅力的なお土産の開発に取り組むべきだ。

生活環境部調整担当部長 現在、TAKA-1の「み



レンタサイクル (すずかけ駐輪場)

市民参加と自治体政治の行政化・行政の政治化



自由民主クラブ 石井 良司 議員

議員 都市型社会において、地域コミュニティが変容する中、市民と行政が対等な

立場で連携・協力し、多様な地域課題に取り組んでいる。今後の市民参加と協働のまちづくりについて所見を伺う。

市長 市民と職員との顔の見える信頼関係、多元的で多層的な市民参加の機会づくりに努めていきたい。

議員 町会・自治会の加入率が40%を割る中「がんばる地域応援プロジェクト発表会」は各地域の取り組みの貴重な情報交換の場である。本年の開催状況を伺う。

第一副市長 行政の少しの支援で大きな成果を生み出した事例が多数紹介された。今後も拡大継続する。

議員 NPO法人等が公共事業を担う場合、指定管理者評価や事業評価、効率性

特定動物飼養施設を把握し震災時の逸走の危険に備えよ



みんなの党 吉沼 徳人 議員

議員 大型犬が逸走し、通行人にけがをさせる事件があった。震災時に犬や特定動物(危険な動物)が逸走した場合、人に危害を加える恐れがあり市民に大きな不安を与える。震災対策として市内及び近隣市区の特定飼養施設の把握が必要だ。

生活環境部調整担当部長 特定動物の飼育や保管に関しては、東京都が所管事務を担っている。個人情報との関係から、特定飼養施設の住所、飼育者名などの情報提供はないため、現時点では難しい。

議員 震災時に犬や特定動物が逸走した場合の本市の対応策を伺う。

生活環境部調整担当部長 都からの連

絡を受け、警察や消防等と連携しながら対応することになると考えている。

議員 震災時には、市が直接特定動物等の状況を確認する方が迅速な対応ができると考える。各自治体が特定飼養施設等に関する情報を把握し、災害時に連携できる体制づくりが必要だ。

生活環境部調整担当部長 都の関係係局に対して、事前に情報共有ができるよう問題提起をしていきたい。

〈その他の質問〉市民サービスについて

一般質問の模様は市議会ホームページの本会議録画中継でご覧になれます。